



モディ・インド首相の訪日（概要）



令和7（2025）年8月
外務省南西アジア課

- 8月29日～30日の日程でインドのナレンドラ・モディ首相が実務賓客として訪日。
- 29日（金）に**日印首脳会談**等を行われたほか、両首脳で**日印経済フォーラム**に出席。30日（土）に両首脳で**宮城県を訪問**。
- 2014年にモディ首相が首相として初訪日し、日印関係を「**特別戦略的グローバル・パートナーシップ**」へ格上げ後10年間の日印関係を総括した上で、基本的価値を共有する両国が互いの強みを活かし合い、相互補完的な関係を構築していくという**今後10年の協力の方向性**を発表。



「日印首脳会談」（首相官邸ホームページ）
(<https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202508/29india.html>) の
画像を外務省にて加工して作成

1 日印首脳会談及びワーキング・ディナー（29日）

- ◆ 両首脳は、両国が将来世代が抱える課題の解決に必要となる社会・経済的価値を共創する、**相互補完的な関係**を構築していくことで一致。こうした協力の方向性を具体化していくための方策を①**安全保障**、②**経済・投資・イノベーション**、③**人的交流**の3つの分野で確認。これらを**日印首脳共同声明**、**今後10年に向けた日印共同ビジョン**等の成果文書に反映。
- ◆ 両首脳は、国際社会が歴史的な転換期にある中、国際社会を協調に導くという「**自由で開かれたインド太平洋**」の考え方の重要性を確認し、日米豪印を含め、幅広い分野で引き続き連携していくことで一致。

<安全保障>

- ◆ 両首脳は、2008年に発表した「**日印安全保障協力に関する共同宣言**」の改定を歓迎し、インド太平洋の平和と安定の実現という共通の目標に向け、日印でより大きな責任を果たしていくことを確認。
- ◆ 両首脳は、重要物資のサプライチェーン強靱化を始めとする両国の連携を強化するために、日印で「**経済安全保障イニシアティブ**」を立ち上げ、産官学による具体的取組を示す**ファクト・シート**（注）を公表。

<経済・投資・イノベーション>

（注）半導体、重要鉱物、情報通信、グリーン・エネルギー、科学協力、医薬品等の分野での協力を列挙

- ◆ 両首脳は、2022年に発表した対印官民投融資5年5兆円目標を3年間で達成できたことを歓迎し、新たに**対印民間投資10兆円目標**を掲げ、ビジネス環境整備にも引き続き取り組んでいくことで一致。

1 日印首脳会談及びワーキング・ディナー（続き）

<経済・投資・イノベーション（続き）>

- ◆ 両首脳は、半導体やAIなどを中心に協力の裾野を広げる重要性を共有し、「**日印デジタル・パートナーシップ2.0**」及び「**日印AI協カイニシアティブ（JAI）**」（注1）の立ち上げ、「**対印スタートアップ企業支援イニシアティブ（JISSI）**」（注2）や宇宙協力の推進を確認。

（注1）Japan-India AI Cooperation,（注2）the Japan-India Startup Support Initiative

- ◆ 両首脳は、**二国間クレジット制度の構築**に関する協力覚書や水素・アンモニアに関する共同意向表明が署名されたことを歓迎。
- ◆ 両首脳は、日印の旗艦事業である**高速鉄道事業**に関し、その実現に向け、引き続き協力していくことで一致。また、モビリティ分野における日印協力を一層強化すべく、新たに「**次世代モビリティ・パートナーシップ**」を立ち上げることで一致。

<人的交流>

- ◆ 両首脳は、高度人材を始めとするインド人材の力を日本経済の成長や地方創生に活かすとともに、日印間の相互補完的な人材の育成・交流・還流の促進を目指す「**日印人材交流イニシアティブ**」を発表。また、**地方自治体間のパートナーシップ**の推進を首脳間でも後押ししていくことで一致。

2 今次訪日の成果文書

- ◆ 以下の首脳レベルの成果文書5件に加え、政府間の覚書10件、民間企業等の覚書170件を発表。
 - 日印首脳共同声明
 - 今後10年に向けた日印共同ビジョン
 - ※今後10年を見据えた日印協力につき、①経済、②経済安全保障、③モビリティ、④環境、⑤技術・イノベーション、⑥医療、⑦人的交流、⑧地方自治体交流の8つの優先分野での具体的方向性を示すもの。
 - 日印安全保障協力に関する共同宣言の改定 ※2008年以來の改定
 - 日印経済安全保障協力ファクト・シート
 - 日印人材交流・協力アクションプラン

3 宮城県訪問（30日）

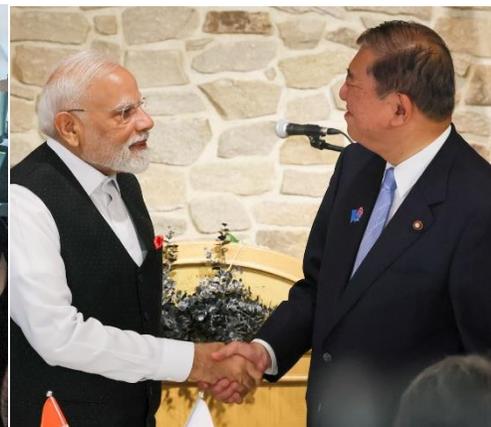
- ◆ 両首脳は、東京駅でJR東日本にて研修を受けている**インド人運転士による見送り**を受け、**新幹線で仙台駅へ移動**。
- ◆ 新幹線の車内では、インドにおける高速鉄道の将来像、日本の新幹線の歴史や正確性・安全性、新幹線がこれまでに果たしてきた役割など、鉄道を中心に**率直な意見交換**を実施。また、両首脳は、**試験電車「ALFA-X」**について説明を受けたほか、移動中に**E5系新幹線運転台を見学し、最高速度（時速320キロ）の体験**を行った。両首脳は、地域情勢についても意見交換を行った。
- ◆ 石破総理は、モディ首相を迎えて**仙台市内で昼食会**を実施。昼食会には、村井宮城県知事を始め同県や東北にゆかりのある関係者も出席。両首脳は、地方間の交流を始めとした様々な分野における日印協力などについて意見を交わした。
- ◆ 両首脳は、**東京エレクトロン株式会社の宮城工場を訪問**し、研修施設等を視察するとともに、同社とインドとの協力等について説明を受けた。



新幹線内での意見交換



新幹線運転台の見学



仙台市での昼食会



東京エレクトロン宮城工場の視察